



病児保育室 あんず通信 Vol.50 2020年1月号

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～溶連菌とインフルエンザについて～

昨年に引き続き溶連菌が流行しています。表には示していませんが、今シーズンは溶連菌とインフルエンザに同時に罹っている方がかなり大勢いらっしゃいます。純粹に溶連菌だけに感染した場合には、さほど咳は出ません。典型的な溶連菌感染では発熱、咽の痛み、発疹、目の充血、舌がブツブツ苺状になる、などの症状がみられます。しかし、咽の痛みのみで発熱もなにもない場合もあり、さらに全く無症状保菌者である場合もあります。一方、インフルエンザでは急な高熱、鼻水、咳などが典型的で、時に嘔吐や下痢の胃腸症状を伴う場合もあります。インフルエンザでは、身体のあちこちの関節が痛くなったり、だるさが強く出て数日間続きます。関節痛は溶連菌でもみられることがあり、どちらか区別することは難しい場合もあります。特に溶連菌では咽がとても赤くなり、扁桃腺が腫れたり、首のリンパ腺が腫れたりします。当院では、診察して「両方ともあやしい」と判断した場合には、同時にインフルエンザと溶連菌の検査を実施しています。

両方とも陽性に出た場合には、同時に両方の治療を行っています。

インフルエンザは予防接種で軽症化出来ますが、溶連菌は予防接種が無いので、飛沫感染しないために手洗い、うがいをしっかり行っていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：12月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	249
2	インフルエンザ A	173
3	胃腸炎(アデノ1/102)	142
4	水ぼうそう	25
5	アデノウイルス咽頭炎	12
6	手足口病	8
7	RSウイルス	3

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8:30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 51 2020年2月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～インフルエンザについて～

何故か1月は12月同様にインフルエンザよりも溶連菌感染症が上回りました。例年よりもインフルエンザは少ない印象です。今シーズンは湿度が高く、暖冬の影響でしょうか。でもまだ、これからインフルエンザB型が増えることが予想されますので、引き続き手洗いうがいなど予防に努めましょう。普段元気な子でも冬は気温が低いため、それだけでエネルギーを消費しています。食事・睡眠をしっかりと、ウイルスに負けない体力を維持しましょう。

～新型コロナウイルスについて～

1月31日にWHOが緊急事態宣言をした新型コロナウイルスですが、西多摩地区では報告されていません。中国の湖北省、武漢などから帰国・来日して14日以内の方、その方に接触した方は注意しましょう。医療機関を受診する際は、事前に電話で問合せてから受診しましょう。主な症状は、鼻水、咳、息切れ、発熱などです。中国での患者の報告では、免疫状態が正常な人は重症化していないようです。亡くなった方の詳しい分析によると、平均年齢は56歳で7割の方が男性でした。約6割の方が別の病気をもともと持っており免疫機能が低下した結果、ウイルスに感染しやすくなっていたと推測されています。そして、2割の方がもともと心臓病や心不全があり、約1割の方が糖尿病でした。有効な抗生物質は無いため、治療は安静や水分補給、対症療法です。こちら手洗い・うがいで予防しましょう。ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返すと、手に残存するウイルスが約十万分の一になります。

文責： 清水マリ子

表：1月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	167
2	インフルエンザA	131
3	胃腸炎(101)	96
4	アデノウイルス咽頭炎	5
5	水ぼうそう	4
6	RSウイルス	1

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8:30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 52 2020年3月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～溶連菌感染症・インフルエンザについて～

12月から連続して溶連菌感染症が首位となっています。一方、インフルエンザは例年よりもだいぶ少ない印象です。3月に入ってから、インフルエンザB型がやや増えてきておりますので、引き続き手洗いうがいなど予防に努めましょう。

～新型コロナウイルスについて～

1月31日にWHOが緊急事態宣言をした新型コロナウイルスですが、世界での症例数が増えるにつれてその病状も解って来ました。国内での感染症発生動向調査のPCR確定例112例の報告によると、男女比は、1.6：1で男性に多く、年齢の中央値は66.5歳、60歳以上が約6割を占めています。症状は、発熱が72%、咳62%、肺炎65%、咽頭痛35%、全身倦怠感（だるさ）33%、嘔気・嘔吐8%、関節・筋肉痛7%、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）7%、結膜充血0%でした。

3月2日から政府要請により学校などが休校になっていますが、こうする事でどんなメリットがあるのでしょうか？過去の実績をみますと、第1次大戦中の1918～1919年にアメリカから全世界に広まったスペイン風邪は、推定感染者5億人、死者5千万～1億人とされています。米国の記録によると、セントルイス市長は感染率が2.2%（死者が1名出た）の段階で非常事態宣言し、集会・イベント中止、学校等人的の集まる場所を閉鎖し、5週間継続しました。それに対比してフィラデルフィア市では感染率が10%になってから同様の封鎖措置を取りました。フィラデルフィアでの死者は、10万あたり250人だったのに対し、セントルイスは10万人あたり30人に抑えることが出来ました。

文責： 清水マリ子

表：2月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	201
2	胃腸炎（106）	73
3	インフルエンザA	15
4	アデノウイルス咽頭炎	5
5	インフルエンザB	3
5	水痘	3
7	RSウイルス	2

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 53 2020年4月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて第2報～

3月11日にWHOがパンデミックと伝えた新型コロナウイルス COVID-19 ですが、パンデミックとはどういう意味でしょうか？WHOによれば、病気が国から国へ広がるのをはや制御できない段階に達したことを示す。あるいは、地球上すべての人がウイルスにさらされている状態などと説明されています。4月に入った今、まさに日本もすべての人がウイルスにさらされている状況と言えます。国立感染症研究所から発表されている3月9日までの感染症発生動向調査によると、コロナウイルスのPCR確定症例は287例（クルーズ船188例を含む）でした。これによると、男女比は1.2対1でやや男性に多い。年齢の中央値は66歳で、約6割が60歳以上でした。症状は、発熱が66%、咳が63%、肺炎が62%、全身倦怠感（だるさ）が41%、咽頭痛が27%、鼻汁・鼻閉が20%、下痢が19%、頭痛が20%、関節・筋肉痛が7%、嘔気・嘔吐が6%、急性呼吸窮迫症候群が6%、結膜充血が2%でした。ICU入室が16%、人工呼吸器管理が22%でした。年齢別の報告を見ると、30代以下では、ICU入室や人工呼吸器管理は0%でした（3月9日までの報告のため）。重症の症例では、約半数以上に基礎疾患がありました。また、このデータ以外に言われていることですが、8～9割の人が無症状かまたは風邪症状のみと言われています。風邪であれば、大抵3～4日がピークでその後1-2週間で落ち着いて来ます。1週間前後経過してもだるさが続いたり、咳が増悪したりする場合は医療機関を受診しましょう。軽症で自分は大丈夫と思っていても、大切な人に移して重症化させてしまう可能性があります。人が集まる場所にはなるべく近寄らないようにしましょう。

文責： 清水マリ子

表：3月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	172
2	インフルエンザB	55
3	胃腸炎(103)	38
4	インフルエンザA	4
5	水痘	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は
行っておりません

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 54 2020年5月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて第3報～

4月7日に緊急事態宣言が発出され、4月22日には福生市でも新型コロナウイルス陽性者が出ました。4月30日に5月6日以降1ヶ月間の緊急事態措置期間延長が決められました。5月も「3つの密」を避け、感染拡大を防いでいきましょう。4月28日に世界の感染者数が300万人を突破したと発表され、小児の症例数も蓄積されて総括報告が出ています。JAMA Pediatrics オンライン版から18論文をまとめた結果をみてみましょう。小児および若年の総報告数（ほとんどが中国の報告）は1065名、内訳は444名が10歳未満（このうち2名が新生児、5名が乳児）、553名が10～19歳でした。主な症状は、発熱、乾性咳嗽（乾いた咳）、全身倦怠感（だるけ）、もしくは無症状でした。重症例の報告は13カ月の1例のみ、死亡例は10～19歳のうち1例でした。現時点では小児に関して重症例、死亡例の基礎疾患が明らかにされていませんが、成人に比べて小児では重症化・死亡率はかなり低いことがわかりました。成人も含めたCDCの報告によると、亡くなった方の80%が高齢者と基礎疾患のある患者（高血圧、心臓病、慢性呼吸器疾患、糖尿病、免疫抑制剤治療中、人工透析治療中、肝臓病）となっています。また、新型コロナウイルスに感染していても6～30%は無症状の人がいると報告されています。「自分は大丈夫」と思っている、知らないうちにウイルスを運んでいる可能性があります。3つの密を避け、手洗い、消毒など継続してゆきましょう。そして、室内でも出来る運動など積極的に行い、免疫力が低下しないよう睡眠や食事をしっかりとっていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：4月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	10
2	溶連菌	9
3	インフルエンザB	2
4	水ぼうそう	1
4	ヘルパンギーナ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は
行っておりません

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 55 2020年6月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて第4報～

5月26日に緊急事態が解除され、制限されていた活動も6月から徐々に再開されています。しかし、ニュースなどでも言われているように、まだ第二波、第三波が来ることが予測されています。引き続き「3つの密」を避け、感染拡大を防いでいきましょう。

世界からみると、日本では不思議なことが起こっています。欧米先進国などでは、罰則を伴うロックダウンや多数PCR検査を行っているにもかかわらず、感染者や死者が数多く出ています。一方、日本では世界から比べるとかなりゆるい緊急事態措置でも感染者や死者がさほど多くありません。自主性に任せたStay home、少ないPCR検査で新型コロナウイルスの感染をよくぞ制御していると世界はみえています。これには様々な理由が推測されています。もともと日本人には感染しにくい体質があるのか、とか、日本人の食習慣や、清潔な生活習慣、同調圧力による行動抑制などが言われていますが、どれも推測の域を出ません。いずれにしても、油断をすれば北海道や北九州のように第二波がやって来ます。手洗い、手指消毒、室内換気など皆で頑張って継続してゆきましょう。山中伸弥先生も述べられているように、コロナとの戦いは長距離マラソンのようなものです。途中でダウンしてしまいうように、うまく付き合っていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：5月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	10
2	溶連菌	8
3	ヘルペス性歯肉口内炎	1
3	EBウイルス感染症	1
3	伝染性膿痂疹(とびひ)	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は行っておりません

★あんずからのお知らせ★

空き状況を Web で確認出来るようになっていました。スマホ・携帯電話でも同様にしみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話をお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8:30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内でも、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室などを利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 56 2020年7月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて第5報～

6月末から東京都での新型コロナウイルス感染報告数が再び上昇してきています。内容をよく見ますと、年齢が20-30歳台で新宿や池袋の夜の繁華街での感染が中心です。今のところ、福生市の累計発生数は2名ですので、市内での感染はかなり抑えられているとみられます。さらに、小児は成人と違ってほとんど感染しない、感染しても重症化しないことが判っています。とはいえ、新型コロナウイルス感染症の症状は風邪と区別が付きません。ですので、風邪症状のある方は自宅療養をして高齢者や基礎疾患のある患者さんなどにうつさないよう配慮しましょう。

～風邪～

6月に自粛解除となり、一斉に保育園・幼稚園・学校が再開されました。休み中は風邪をうつしあうこともなく元気に過ごした子ども達も、2-3週間経過して疲れが出たのか、風邪が増え始めました。風邪症状のある方は、発熱が無くても家で休養を取りましょう。発熱後は発熱した日数くらいはお休みするのが理想ですが、少なくとも24～48時間は家で様子をみましょう。

文責： 清水マリ子

表：6月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	33
2	胃腸炎	28
3	水痘(みずぼうそう)	14
4	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせ★

空き状況をWebで確認出来るようになっています。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内でも、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



病児保育室 あんず通信 Vol. 57 2020年8月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて第6報～

東京都では、相変わらず新型コロナウイルスのPCR検出数が増加していますが、東京都のホームページ情報などを詳しく見てみますと、重症者や死者数は増えていません。3-4月の感染状況とは明らかに異なっています。これは皆さんもご存知の通り、23区内で軽症者や無症状者に積極的にPCR検査を行っている為です。都心から遠く離れた福生では、状況はかなり異なっています。また、たとえ感染したとしても、ほとんどの人が無症状か風邪症状のみで自然治癒します。つまり、元気な人達の間でクラスターが発生したとしても、そんなに心配は要らないということです。ただし、重病を抱えた方や高齢者の方に移さないように気を付けていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：7月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	145
2	胃腸炎	44
3	水痘(みずぼうそう)	5
4	EBウイルス	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護
服着用し必要最低限実施しています。

★夏休みのお知らせ★

8月17～21日は夏休みを頂きます。8月24日から通常通り開室致します。ご不便をおかけしますが、宜しくお願い致します。

★あんずからのお知らせ★

空き状況をWebで確認出来るようになっていました。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8：30までに必ずお電話**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック

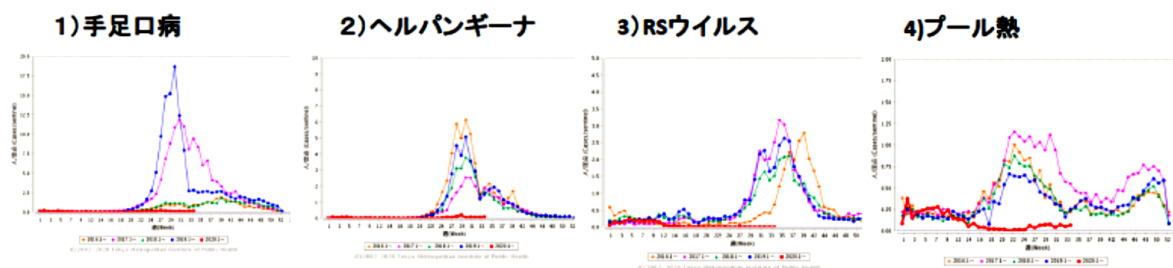


～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～ウイルス干渉について～

この夏は例年の夏と違い、いわゆる夏風邪（手足口病やヘルパンギーナやプール熱）がほとんど流行しませんでした。加えて、ここ数年夏から流行していたRSウイルスも流行していません。これはどうしてでしょうか？「ウイルス干渉」という現象があります。これは、先にあるウイルスが流行していると、他のウイルスの流行が抑制される現象で、医学会やウイルス学会では良く知られている事です。ざっくり説明しますと、一方のウイルス①がある生物 A に感染すると、一方のウイルス②がその生物 A に吸着するのに必要な受容体（レセプター）を占領されてしまうため、あとから来たウイルス②が生物 A に吸着することが出来なくなります。東京都感染症情報センターの流行状況をみてみましょう。下のグラフ赤のラインが2020年です。



京都大学の上久保教授によると、今年1-2月国内のインフルエンザの流行は例年よりだいぶ少なかった。これは12-3月に日本人が気づかないうちに無症状～軽症のコロナウイルスに罹っていたと分析しています。

この夏の現象は、鼻水程度の軽症風邪ウイルス（数えていませんが）が流行しているせいかもしれません。

文責： 清水マリ子

表：8月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	65
2	胃腸炎(内痔ノ1)	21
3	水痘(みずぼうそう)	10
4	突発性発疹	4

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

※これまで突発性発疹症の数は掲載していませんでしたが、今回から掲載しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

空き状況を Web で確認出来るようになっています。しみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話をお願い致します。

キャンセルをされる場合は、留守電で構いませんので当日 8:30までに必ずお電話をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～インフルエンザワクチンについて～

先月17日に厚生労働省からインフルエンザワクチン接種について10月1日から高齢者に優先的に接種、それ以外の方は26日からという発表がありました。これに対し、日本小児科医会では「小児への接種を遅らせることは避けるべき」という見解を示しました。というのも、特に小児ではインフルエンザ脳症のリスクがあり優先順位は高いという考えです。ですので、お子様は高齢者に遠慮することなく接種を受けましょう。

また、日本小児科医会ではワクチンの接種回数について、日本では通常13歳未満は2～4週間あけて2回となっていますが、今シーズンはワクチンの供給が逼迫した場合、2回のところ1回にすることを提案しています。主治医が適切と判断した場合に限り、9歳から13歳未満のこどもと、昨年2回接種を受けた8歳までの子どもについて接種回数を2回から1回に減らすことも検討するよう提案しています。つまり、1人当たりの回数を減らすことで、より多くの人にインフルエンザワクチンを接種してもらおうという考えです。多くの人が接種すれば集団免疫効果が高まり、社会全体に流行しにくい状況を作ることができます。

ワクチン接種の時期についてですが、「あまり早く接種すると、春ごろに免疫が切れてしまう」と心配される人がいますが、接種後の免疫は4-5ヶ月持続すると言われています。流行期間は、例年ですと11月下旬から1-2月までですので、10月～12月中旬までの期間に接種するのが良いでしょう。 文責： 清水マリ子

表：9月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	91
2	胃腸炎	31
3	水痘(みずぼうそう)	5
4	突発性発疹	4
5	おたふくかぜ	2
6	ヘルパンギーナ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

※これまで突発性発疹症の数は掲載していませんでしたが、前回から掲載しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

空き状況をWebで確認出来るようになっています。しみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

キャンセルをされる場合は、留守電で構いませんので当日8:30までに必ずお電話をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

色々な情報がありすぎて、何を信じていいかわからない。という方もいらっしゃるかもしれませんが、東京の状況は6月以降大きく変化していません。インターネット等（東京都感染症情報センターなど）で検索するときに注目したいのは、重症者数推移、死亡者数推移、実行再生産数です。これらを10月までみますと、東京都は大きく変化していません。政府分科会によると、冬にむけて患者数の増加、第3波が予測されていますが、どのようなことに気を付ければよいのでしょうか。様々な実績から新型コロナウイルス対策として有効とされていることは、防寒、加湿（60%以上）、紫外線（波長222nm）、オゾンなどです。一般家庭では紫外線やオゾンは出来なくても、他、マスク、手洗い、うがい、室内換気（20-30分に1回）、規則的な生活（バランスの良い食事・睡眠をしっかりとる・疲れを貯めない）など出来ることはたくさんあります。マスクをすることで加湿効果が上がり、気道の排泄機能を高めることが出来ます。また、身体を温めることなどは身近な衣服や生活環境で整えることが出来ます。

とはいえ、日本国内では小児の死亡は0人であり、かつ、重症化していません。しかも、西多摩地区、福生市の発生数は都心に比してとても少ない状況です。気を付けたいのは持病のある高齢者、免疫抑制状態の方です。引き続きうつさないように気を付けていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：10月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	135
2	胃腸炎	42
3	アデノウイルス扁桃炎	8
4	突発性発疹	7
5	水痘	2

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

※これまで突発性発疹症の数は掲載していませんでしたが、前回から掲載しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

空き状況を Web で確認出来るようになっています。しみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

キャンセルをされる場合は、留守番電話で構いませんので当日8:30までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～



【感染症だより】

～コロナウイルスについて～

新型コロナウイルスの第3波、Go-To トラベル・イートの影響などと報道されていますが、コロナウイルスはもともと冬に流行するもので、新型コロナウイルスが流行する以前から毎年流行がみられています。夏場、ウイルスは活動を弱めますが完全に死んでいなくなるものではありません。気温が下がってくれば発病者が増えることは、例年の感染状況からみれば判っていた事と言えます。発病者が増えれば、それに従って重症者が増えることも当然と言えます。東京都でも11月は重症者数が増えてきていますが、年齢を見ると80歳以上の方がほとんどで、30-40代もごくわずか、20台以下は0名となっています。基礎疾患の無い70歳台以下の方はあまり心配する必要はなさそうですが、周りにうつさない様に引き続き気を付けていきましょう。また、実行再生産数（一人の人が何人に移すかの指数）は12月に入ってから11月よりも下がっています。ニュースで報道されているPCR陽性者数に惑わされずに、冷静に対応しましょう。

11月28日、田村厚労大臣は新型コロナウイルスに対する指定感染症としての指定期間延長を発表しました。新型コロナウイルスの実態はこの約1年間でだいぶ解ってきましたので、今まで頑張ってきたことを励みにこれからも皆で乗り切って行きましょう。

文責： 清水マリ子

表：11月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	79
2	胃腸炎(アデノ1)	27
3	アデノウイルス扁桃炎	15
4	突発性発疹	6
5	水痘	2
6	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★年末年始休業のお知らせ

12/30（水）～1/6（水）年末年始のお休みとさせていただきます。何卒よろしくお願い致します。

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっています。[しみず小児科・内科クリニック](#)の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

